

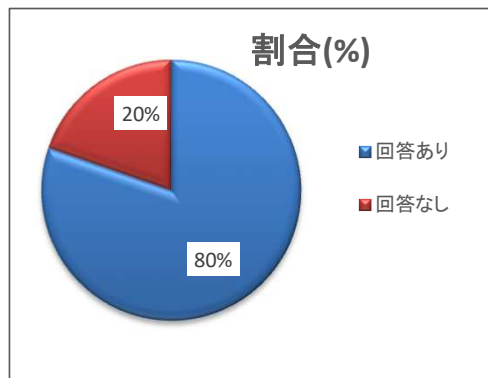
令和8年度 関水コン第1回技術講習会 アンケート集計結果

実施日：令和8年4月23日（木）

◆ 技術講座について

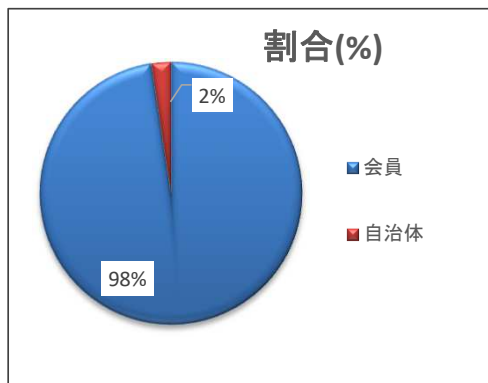
1- (1) : アンケート調査回答の有無

アンケート調査	人員（人）	割合（%）
回答あり	167	80%
回答なし	41	20%
計	208	100%



1- (2) : 所属

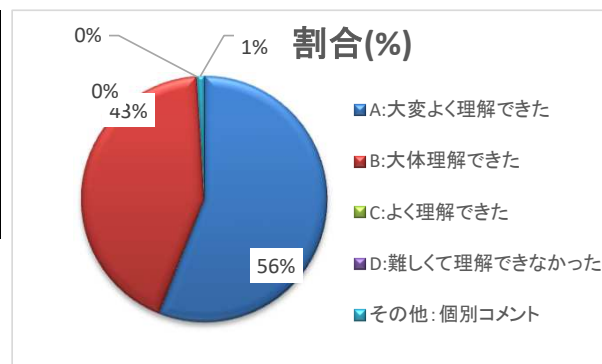
所属	人員（人）	割合（%）
会員	203	98%
自治体	5	2%
計	208	100%



2: アンケート調査

Q1. 本日のテーマ（内容）の理解度についてお答えください

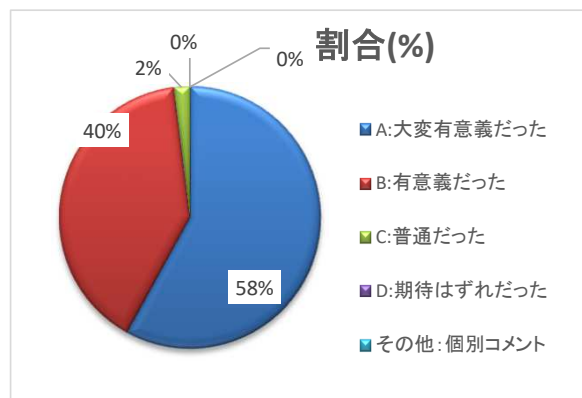
ランク	人員（人）	割合（%）
A:大変よく理解できた	94	56%
B:大体理解できた	71	43%
C:よく理解できた	0	0%
D:難しくて理解できなかった	0	0%
その他：個別コメント	2	1%
計	167	100%



【その他：個別コメント内容】

Q2. 本日参加された印象をお答えください

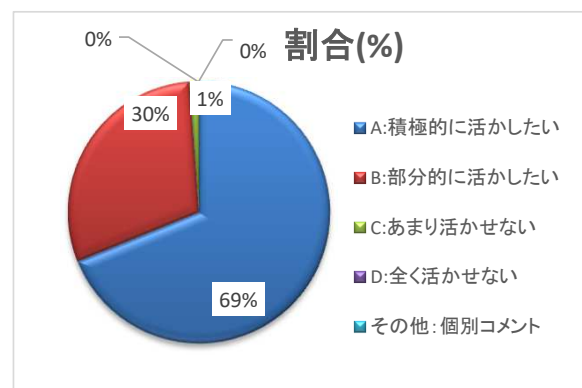
ランク	人員（人）	割合（%）
A:大変有意義だった	98	58%
B:有意義だった	66	40%
C:普通だった	3	2%
D:期待はずれだった	0	0%
その他：個別コメント	0	0%
計	167	100%



【その他：個別コメント内容】

Q3. 参加後の仕事のかかわりについてお答えください

ランク	人員（人）	割合（%）
A:積極的に活かしたい	115	69%
B:部分的に活かしたい	50	30%
C:あまり活かさない	2	1%
D:全く活かさない	0	0%
その他：個別コメント	0	0%
計	167	100%



【その他：個別コメント内容】

Q4. 今後取り上げてほしいテーマ等をご記入ください（200字以内）※意見集約**1. 官民連携、ウォーターPPP、事業スキーム**

- ・ウォーターPPP、DB、DBOなどの導入事例、進捗状況・実績、取り組み方
- ・官民連携、小規模管路DB、水道DB、広域化・分散型事業など全国動向
- ・ウォーターPPP簡易導入方法、自治体の課題対応（人材不足・老朽化・収入減）

2. DX・AI・先端技術

- ・最新DX（AI、BIM/CIM、ICT、情報セキュリティ、3D都市モデルなど）技術等
- ・上下水道DXの導入事例、有効活用、今後の見通し等
- ・最新技術、グリーンインフラ、GXの動向

3. 技術士試験対策・学習内容

- ・キーワードや傾向の分析、論文の書き方など
- ・模範解答、過去問対策
- ・具体的な勉強の仕方（骨子の作り方や、記憶方法）、詳しい試験対策
- ・筆記／口頭試験対策
- ・合格者が使用していた基準図書や参考書など
- ・一次試験対策、模擬試験の実施、

4. 政策・制度・業界動向等

- ・上下水道事業のトレンド、近年の動向、政策など
- ・近年の施策、ガイドライン、マニュアル、法改正、国の重点政策などの解説
- ・上下水道一体効率化
- ・流域治水、グリーンインフラ、GX、リダンダンシーなどの動向
- ・八潮陥没事故の原因、復旧対策

5. 設計・維持管理・業務内容

- ・管路設計、管更生、非開削工法など設計手法
- ・点検調査（空洞調査、漏水調査など）、施工管理、老朽化対策
- ・改築設計の事例紹介、留意事項など
- ・難易度の高い設計事例紹介
- ・初級技術者用説明会

6. その他

- ・若手技術者への指導方法
- ・顧客対応についての留意事項

Q5. その他、ご意見、ご感想などをお聞かせください（200字以内）※意見集約

運営や形式に関するコメント

- ・ 今回の講習会において事前にpdfのレジメをいただけたので、予習が出来てとてもよかった。
- ・ 時間的に午後からの3時間程度であり、よかったと思います。
- ・ 講習会はこの後もWeb方式でお願いします。
- ・ 今後も参加しやすいウェビナー方式を継続していただきたい。
- ・ 難しいかもしれませんが、4月上、中旬に行ってほしい。

技術士講習会の内容について

- ・ これからもトピック的な話題の講習会を望みます。
- ・ 合格者の貴重な体験談輪参考になりました。勉強方法や、骨子の作り方、記憶の仕方などを教えてほしいです。
- ・ また、私は勉強しませんが・・・の応答が中にありました。勉強しなくても合格する話をきいているわけではないので、あまり言ってほしくないフレーズでした。
- ・ 今回の講習会ではAIを用いることで得られる新たな気付き等有意義でしたが、講習中の話と最後の質問回答で発表者経験談に相違があることが分かり残念でした。こういった場では本音で話してもらった方がいいです。
- ・ 時間の関係で口頭試験の内容は少ないように感じました。受験者の共通意見として口頭試験の方が時間が限られており大変だったとのことでしたので、筆記試験と口頭試験を分けて講習会をしても良いのかなと思いました。
- ・ 技術士対策として体験談が参考になりました。
- ・ 講師それぞれの体験や勉強の工夫は大変参考になりました。
- ・ 合格者体験談は、勉強方法に各々特徴があるとともに本人の発表のため説得力があり、これからの受験者に加え指導者も大いに参考になるもと感じました。

今後の期待や提案

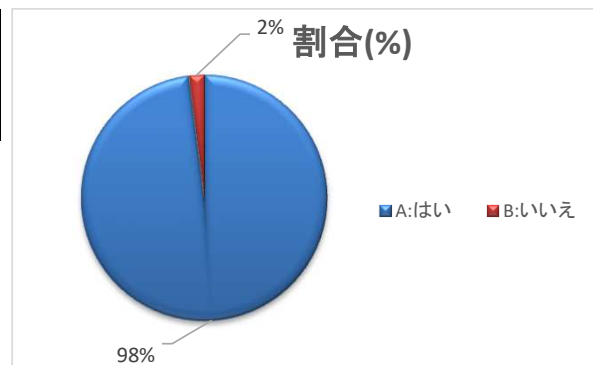
- ・ ライブ映像のアーカイブもあれば復習できると思います。
- ・ 来年度は試験内容が一部変更されるとの情報もありますため、次年度以降もこのような講習会を開催いただけることを心よりお願い申し上げます。

その他コメント

- ・ 技術士第二次試験の合格者体験談は毎回非常に勉強になります。今後も多くの体験談をご紹介いただければ嬉しいです。
- ・ 30年前に「上下水道部門（下水道）」及び「総合技術監理部門（下水道）」の技術士になりましたが、令和に求められるそれぞれの技術士像を勉強させていただきました。ありがとうございました。

Q6. 本講習会を受けて技術士試験に前向きになりましたか？

ランク	人員（人）	割合（%）
A:はい	163	98%
B:いいえ	4	2%
計	167	100%



【その他：個別コメント内容】

Q7. 具体的にどのようなことが前向きに、またはそうではないと感じましたか？（200字以内）※意見集約

1. 勉強方法・学習法の参考
 - ・ 合格者の勉強方法、時間の使い方、学習手順が参考になった。
2. 試験対策の具体化
 - ・ 論文対策、回答の組み立て方、スケジュール管理のイメージが明確になった。
3. 合格者体験談による刺激
 - ・ 実体験・失敗経験・複数回受験の話が励みになった。
4. モチベーション向上
 - ・ 「自分も頑張ろう」「受験したい」という前向きな気持ちが高まった。
5. 不安の軽減
 - ・ 初受験や準備不足への不安が和らぎ、取り組み方が見えた。
6. 資格取得への意欲
 - ・ 技術士取得の価値や必要性を再認識した。
7. 実務・日常業務への意識変化
 - ・ 普段の業務でも技術士試験を意識して整理・学習したいという意見。
8. 若手・同世代からの刺激
 - ・ 若い合格者や同世代の発表に刺激を受けた。
9. 継続努力の重要性
 - ・ 何度も挑戦して合格した話から、諦めず続ける大切さを感じた。
10. 前向きになれない・課題意見
 - ・ 一部で知識不足、個人的に前向きになれない、待遇改善が必要との意見もあった。